

# I

---

## 自然と人口

## 1 自然・地形

\* 1

\* 2

\* 3

\* 4

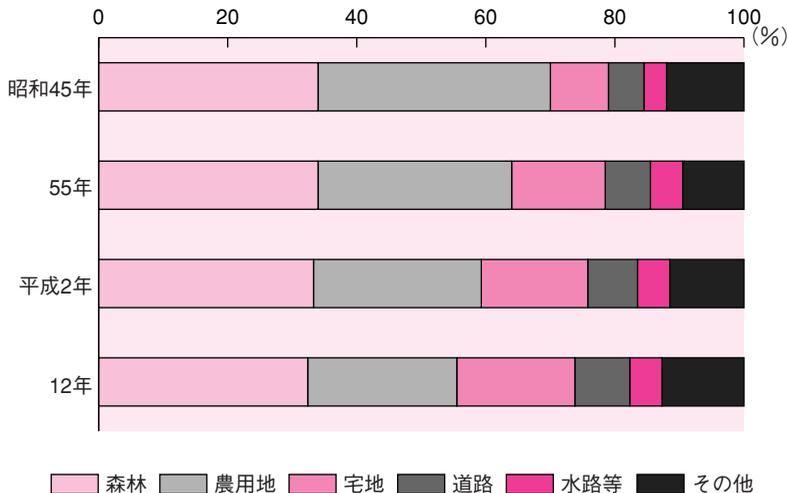
		林野面積 (ha)	自然公園面積(国 立・国定・都道府 県立自然公園計) (ha)	自然環境 保全地域面積 (ha)	河川延長・ 一級河川 (指定区間外含む) (km)
全	国	24 918 017	5 361 739	73 863.59	87 560.1
北	海 道	5 583 301	862 908	3 689.67	10 181.8
青	森 県	630 485	114 531	1 230.17	1 077.8
岩	手 県	1 156 859	70 474	2 195.45	2 143.7
宮	城 県	413 805	171 199	7 815.21	2 111.9
秋	田 県	840 308	123 169	686.19	2 738.7
山	形 県	647 331	154 796	5 105.96	2 923.5
福	島 県	943 544	168 206	4 867.41	3 351.7
茨	城 県	189 833	90 259	645.21	1 890.7
栃	木 県	345 048	132 139	4 672.26	2 709.6
群	馬 県	406 635	90 412	5 327.21	2 900.1
埼	玉 県	123 170	124 583	518.24	1 641.6
千	葉 県	165 408	28 522	1 773.75	512.6
東	京 都	79 104	79 359	405.30	735.1
神	奈 川 県	94 904	55 157	11 215.90	331.7
新	潟 県	809 480	316 955	2 008.42	3 602.1
富	山 県	239 693	119 754	623.78	1 168.8
石	川 県	279 547	52 494	1 050.50	316.7
福	井 県	311 147	61 432	273.12	1 096.0
山	梨 県	349 574	121 153	2 144.33	2 055.6
長	野 県	1 023 069	278 522	788.49	5 078.1
岐	阜 県	845 346	194 925	2 956.87	3 268.3
静	岡 県	497 690	83 673	5 185.52	1 629.0
愛	知 県	220 421	89 791	127.73	1 384.2
三	重 県	375 464	206 677	458.60	1 746.0
滋	賀 県	205 412	149 957	—	2 337.7
京	都 府	344 573	8 701	221.87	1 541.2
大	阪 府	57 899	19 082	38.33	666.4
兵	庫 県	563 646	166 015	398.30	1 759.2
奈	良 県	284 056	63 328	92.10	1 598.6
和	歌 山 県	362 824	41 053	329.39	650.9
鳥	取 県	257 668	49 061	152.20	1 034.2
島	根 県	529 211	40 495	178.74	2 093.7
岡	山 県	490 166	80 662	66.04	2 541.3
広	島 県	622 213	37 224	2 054.12	2 415.6
山	口 県	436 133	42 667	—	215.8
徳	島 県	312 360	38 262	39.00	1 519.0
香	川 県	88 463	20 534	88.02	87.1
愛	媛 県	400 644	41 388	1 914.37	1 944.3
高	知 県	593 650	47 405	4.70	1 924.2
福	岡 県	223 382	88 107	134.11	1 297.4
佐	賀 県	109 943	27 007	121.00	1 075.4
長	崎 県	247 532	74 095	726.72	68.2
熊	本 県	465 810	155 644	159.37	1 728.4
大	分 県	456 892	174 847	16.16	2 080.9
宮	崎 県	589 940	91 784	183.97	1 508.2
鹿	児 島 県	593 209	82 123	229.00	877.1
沖	縄 県	111 225	35 651	950.79	—
埼玉県の順位		41	14	24	24



## 2 面積

		* 1	* 2	* 3	* 4
		総面積 (北方地域及び 竹島を含む) (km <sup>2</sup> )	総面積中の 可住地面積割合 (%)	可住地面積中の 人口集中地区 面積比率 (%)	評価総面積中の 宅地面積割合 (%)
全	国	377 873.06	32.5	10.3	9.6
北	海 道	83 453.04	27.9	3.6	3.5
青	森 県	9 606.33	33.3	4.9	6.9
岩	手 県	15 278.40	24.3	2.3	3.8
宮	城 県	7 285.07	43.0	7.4	10.2
秋	田 県	11 612.11	27.2	2.7	5.5
山	形 県	9 323.34	30.6	4.0	6.7
福	島 県	13 782.48	30.6	4.2	6.6
茨	城 県	6 095.58	65.2	5.8	15.0
栃	木 県	6 408.28	46.0	6.0	12.2
群	馬 県	6 363.16	36.1	8.5	15.2
埼	玉 県	3 797.30	67.6	26.1	26.8
千	葉 県	5 156.19	67.6	17.7	18.9
東	京 都	2 186.90	63.8	76.4	53.4
神	奈 川 県	2 415.41	60.4	64.2	44.2
新	潟 県	12 582.37	35.6	5.0	8.8
富	山 県	4 247.22	43.6	5.7	16.2
石	川 県	4 185.22	33.0	7.4	10.8
福	井 県	4 188.75	25.4	6.8	9.8
山	梨 県	4 465.37	21.3	6.6	11.7
長	野 県	13 585.22	24.5	5.2	9.1
岐	阜 県	10 598.18	20.2	8.3	7.0
静	岡 県	7 779.46	35.1	15.0	12.4
愛	知 県	5 155.84	57.2	30.0	28.8
三	重 県	5 776.40	35.0	8.7	11.3
滋	賀 県	4 017.36	32.1	7.6	12.6
京	都 府	4 612.94	25.0	22.1	13.3
大	阪 府	1 892.86	69.4	68.3	55.6
兵	庫 県	8 392.03	32.8	20.2	13.5
奈	良 県	3 691.09	23.0	16.1	10.1
和	歌 山 県	4 725.55	23.2	8.2	5.7
鳥	取 県	3 507.17	26.0	4.9	7.4
島	根 県	6 707.29	18.7	3.5	3.9
岡	山 県	7 112.13	31.1	8.9	8.3
広	島 県	8 476.95	26.6	13.5	8.2
山	口 県	6 110.45	28.6	11.9	7.7
徳	島 県	4 145.10	24.6	5.4	6.9
香	川 県	1 875.88	52.8	7.9	14.2
愛	媛 県	5 676.22	29.4	9.0	6.5
高	知 県	7 104.66	16.4	4.9	3.0
福	岡 県	4 971.01	55.1	20.4	20.7
佐	賀 県	2 439.23	54.9	3.9	9.2
長	崎 県	4 092.44	39.5	7.4	9.1
熊	本 県	7 403.68	37.1	5.2	8.9
大	分 県	6 337.97	27.9	6.4	7.9
宮	崎 県	7 734.40	23.7	6.1	8.9
鹿	児 島 県	9 186.71	35.3	4.0	7.4
沖	縄 県	2 271.30	51.0	10.5	11.8
埼玉県の順位		39	2	5	5

## 県土の利用形態別面積構成比



### 概要

「社会生活統計指標」によると、平成12年10月1日現在の埼玉県の面積は3,797km<sup>2</sup>（東西約103km、南北約52km）で国土の約1％に当たり、47都道府県中39番目の広さです。可住地面積の割合は全国平均の約2倍の67.6％で、全国第2位です。「国勢調査」で設定される人口集中地区は県内の全ての市と18の町に設定されており、可住地面積に占める人口集中地区面積の割合は26.1％で全国第5位でした。

「固定資産の価格等の概要調書（土地）」によると、平成13年1月1日現在の評価総地積（固定資産税課税台帳等に登録された土地で国有地等の非課税土地を除いた土地）の面積のうち、宅地として登録された土地の面積割合は26.8％で、全国第5位でした。

「埼玉の土地」によると、平成12年の県土の利用形態別面積割合は、森林32％、農用地23％、宅地18％などとなっており、年々宅地の増加が進んでいます。

### 総面積

国土地理院「平成12年全国都道府県市区

町村別面積調」による（一部境界未定部分は総務省統計局において推定）。ただし、十和田湖は秋田県、青森県のどちらの面積にも含まれていない（全国値には含む）。

### 可住地面積割合

可住地面積÷北方地域及び竹島を除いた総面積×100

可住地面積とは、北方地域及び竹島を除いた総面積から林野面積と主要湖沼面積（面積が1km<sup>2</sup>以上の湖沼で人造湖以外の湖沼）を差し引いたもの。

### 人口集中地区面積比率

人口集中地区面積÷可住地面積×100  
人口集中地区とは、都市的地位を表す次の両方の基準に該当する国勢調査基本単位区を基礎単位とする地域。

- (1)市区町村の境界内で人口密度の高い基本単位区（原則として人口密度が1km<sup>2</sup>当たり4千人以上）が隣接していること。
- (2)それらの地域の人口が、5千人以上を有すること。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～3 「社会生活統計指標」総務省統計局 * 4 「固定資産の価格等の概要調書（土地）」総務省	平成12年10月1日 平成13年1月1日	毎年 毎年

## 3 気象

\* 1

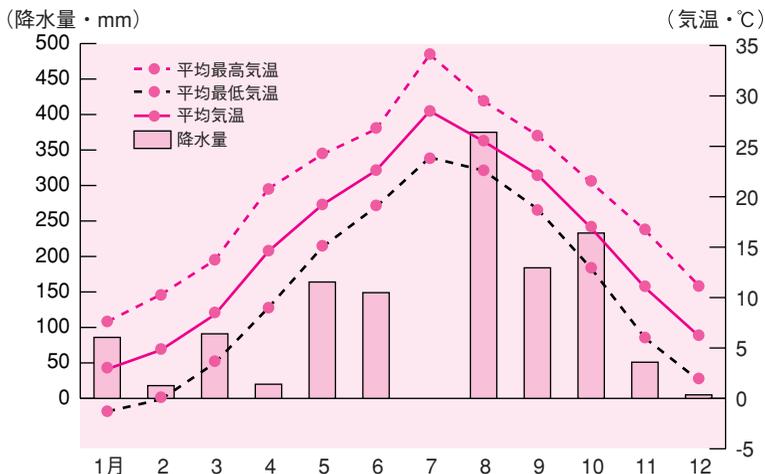
\* 2

\* 3

\* 4

		平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	快晴日数・ 日平均曇量<1.5 (日)
全	国	...	...	...	...
北	海 道	8.3	1 125.0	1 721.7)	13
青	森 県	9.9	1 400.5	1 580.6	14
岩	手 県	9.9	1 069.5	1 745.1	14
宮	城 県	12.2	1 092.5	1 835.7	28
秋	田 県	11.6	1 409.5	1 466.0)	13
山	形 県	11.6	1 141.0	1 648.5)	15
福	島 県	12.8	991.0	1 692.1)	19
茨	城 県	13.7	1 243.5	2 060.5)	46
栃	木 県	14.0	1 525.0	2 057.8	48
群	馬 県	14.8	1 316.0	2 200.0	44
埼	玉 県	15.2	1 376.0)	2 206.0	75
千	葉 県	15.8	1 482.0	2 006.3	69
東	京 都	16.5	1 491.0	1 976.5	49
神	奈 川 県	15.9	1 630.5	2 063.6	38
新	潟 県	14.0	1 708.0	1 733.4)	17
富	山 県	14.3	2 245.0	1 723.7	24
石	川 県	14.8	1 921.0	1 790.1	26
福	井 県	14.6	2 165.0	1 737.6)	23
山	梨 県	14.6	欠測	2 337.1	46
長	野 県	11.8	926.0	2 037.5	21
岐	阜 県	16.0	1 580.0	2 133.1)	32
静	岡 県	16.6	2 009.0	2 204.0)	43
愛	知 県	16.0	1 415.0	2 147.1	33
三	重 県	16.1	1 582.5	2 143.3	34
滋	賀 県	14.9	1 479.5	1 891.9)	28
京	都 府	16.1	1 234.5	1 871.7	18
大	阪 府	17.1	1 041.5	2 154.3	24
兵	庫 県	16.9	864.0	2 101.3)	25
奈	良 県	15.1	1 189.0	1 913.0	23
和	歌 山 県	16.7	1 408.0	2 139.7)	32
鳥	取 県	14.9	2 085.5	1 724.2	20
島	根 県	15.0	2 061.0	1 744.8	17
岡	山 県	16.3	1 282.5	2 130.1)	32
広	島 県	16.3	1 556.0	2 103.1)	26
山	口 県	15.6	1 954.5	1 954.7	32
徳	島 県	16.5	1 737.0	2 160.6)	24
香	川 県	16.5	1 102.5	2 113.5)	26
愛	媛 県	16.6	1 501.5	2 040.5)	33
高	知 県	17.2	2 417.0	2 220.0)	44
福	岡 県	17.1	1 942.5	1 910.6	33
佐	賀 県	16.7	1 924.5	2 051.8)	43
長	崎 県	17.4	1 558.5	1 920.9	34
熊	本 県	17.2	1 798.5	2 052.9	32
大	分 県	16.8	1 679.5	2 039.8	28
宮	崎 県	17.7	2 650.5	2 079.3	54
鹿	児 島 県	18.9	1 990.0	1 978.8)	31
沖	縄 県	23.4	2 644.0	1 601.9)	7
埼玉県の順位		27	32	3	1

## 月別平均気温・降水量（平成13年・熊谷）



注）7月の降水量は欠測。

資料：「気象庁年報」気象庁

## 概要

埼玉県の気候は、夏の厳しい蒸し暑さと冬の乾燥した「カラッ風」と呼ばれる北西季節風が特徴的な内陸性の太平洋側気候です。地域別に気温の特徴をみると、北部から南部の東側にかけてが夏の気温が県内で最も高くなる地域で、これまでに熊谷で39.9℃、越谷で40.2℃が観測されました。一方、秩父地方の盆地では、冬季の夜間の冷え込みが強く、これまでに秩父で観測された-15.8℃が県内で観測された最低気温の記録です。

「気象庁年報」によると、平成13年の熊谷地方気象台観測の年平均気温は、平年値より0.6℃高い15.2℃で、最高気温は7月13日の39.6℃、最低気温は1月15日の-6.5℃でした。また、年間降水量（7月は欠測）は平年値より132.8mm多い1,376.0mmで、月最大降水量は8月の375.0mm、月最小降水量は12月の5.0mmでした。日照時間は平年値より198.8時間多い2,206.0時間でした。快晴日数は昨年より21日増加して75日となり、前年に引き続き全国第1位でした。

## 年平均値

月平均値の年間平均。月平均値は毎日の平均値の月間平均で、日平均値は1時から24時までの毎正時24回の観測値の平均。

## 平年値

平均的な気候状態を表すときの用語で、気象庁では30年間の平均値を用い10年ごとに更新している。最新は1971～2000年平均。

## 快晴日

快晴日とは、1日3回（9、15、21時）観測した雲量（雲におおわれた部分の全天空に対する見かけ上の割合を10分比で表したも）の平均が1.5未満の日。

※表中の各都道府県値は、原則として都道府県庁所在地の観測地点によったが、埼玉県は熊谷市、滋賀県は彦根市の値とした。

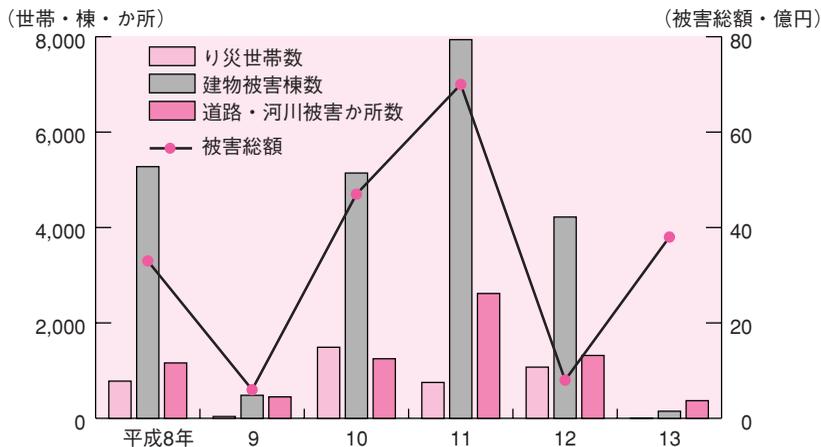
※表中の数字の「」は、推計された観測値、または欠測がある場合の統計値。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「気象庁年報」気象庁	平成13年	毎年

## 4 自然災害

		* 1	* 2	* 3	* 4
		震度観測回数 (震度1以上) (回)	自然災害・ り災世帯数 (世帯)	自然災害・ り災者数 (人)	自然災害・ 被害総額 (千円)
全	国	…	5 603	13 349	436 081 082
北	海	4	42	106	32 118 433
青	森	8	65	175	26 307 002
岩	手	22	—	—	35 267 778
宮	城	14	38	86	13 693 044
秋	田	3	33	123	13 368 555
山	形	5	—	—	7 478 006
福	島	20	—	—	21 143 787
茨	城	62	30	99	576 367
栃	木	20	20	55	17 883 991
群	馬	3	24	68	19 955 639
埼	玉	21	6	9	3 833 818
千	葉	20	193	471	980 448
東	京	24	8	16	352 635
神	奈	35	234	524	75 129
新	潟	4	20	79	9 252 009
富	山	4	—	—	3 830 755
石	川	3	—	—	5 603 602
福	井	12	8	21	158 400
山	梨	17	—	—	5 288 329
長	野	7	8	13	13 154 696
岐	阜	11	—	—	1 231 156
静	岡	15	7	21	15 288 256
愛	知	13	7	14	358 355
三	重	9	326	732	13 311 985
滋	賀	12	3	6	764 776
京	都	12	1	2	640 082
大	阪	3	—	—	320 020
兵	庫	7	—	—	343 983
奈	良	14	1	1	3 011 997
和	歌	24	2 278	4 964	15 549 128
鳥	取	42	1	4	1 587 783
島	根	8	111	312	3 852 889
岡	山	8	—	—	2 250 556
広	島	10	848	2 032	17 038 720
山	口	8	50	98	3 796 690
徳	島	11	—	—	7 428 220
香	川	12	1	2	886 560
愛	媛	18	186	397	11 583 484
高	知	12	—	—	33 397 250
福	岡	2	67	224	7 907 950
佐	賀	3	2	4	5 905 277
長	崎	—	25	68	3 530 724
熊	本	11	26	79	12 941 278
大	分	8	47	112	6 440 838
宮	崎	16	88	269	12 507 463
鹿	児	8	102	212	19 710 837
沖	縄	4	697	1 951	4 172 402
埼玉	県の順位	7	29	29	29

## 自然災害被害状況



資料：「消防白書」消防庁

### 概要

「地震・火山月報（防災編）」によると、平成13年の埼玉県熊谷市の観測点で震度1以上の震度を観測した回数は21回で、全国第7位でした。その内訳は震度1が18回、震度2が2回、震度3が1回でした。なお、全国で震度1以上を観測した回数の最も多い観測点は東京都新島村式根島で、163回でした。また、平成13年に観測された全国で最も強い震度は震度5強で、静岡県（1か所）広島県（4か所）、山口県（1か所）、愛媛県（3か所）で観測されたものでした。

「消防白書」によると、平成13年中に発生した台風の数 は26個で 平成（昭和46年から平成13年）の26.7個とほぼ同じ、また上陸数は2個でした。埼玉県における自然災害によるり災世帯数とり災者数は、ともに前年より大幅に減少し、それぞれ6世帯（前年比1,067世帯減）、9人（同2,812人減）となりました。一方、被害総額は前年より30億円増加して38億円となり、全国第29位でした。被害の内訳は、負傷者2人、住家の全壊1戸、一部破壊63戸、床上浸水5戸、床下浸水80戸、非住家被害30戸、田の冠水

55ha、畑の冠水37ha、道路262か所、橋りょう2か所、河川108か所、崖くずれ12か所、鉄道不通2か所で、河川被害と崖くずれが増加しました。

### 自然災害

暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、火山噴火、その他異常な自然現象により生じた被害。

※表\*1の各都道府県値は、原則として都道府県庁所在地の観測地点によったが、埼玉県は熊谷市、東京都は千代田区、滋賀県は彦根市の値とした。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
*1 「地震・火山月報（防災編）」気象庁 *2～4 「消防白書」消防庁	平成13年 平成13年	毎年 毎年

## 5 総人口

\* 1

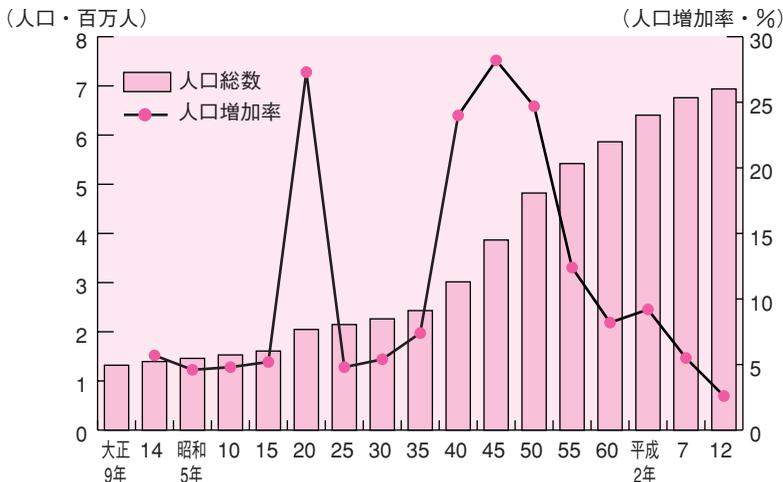
\* 2

\* 3

\* 4

	人口総数 (千人)	男 (千人)	女 (千人)	総面積による 人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
全 国	127 291	62 244	65 047	340.4
北海道	5 679	2 714	2 965	72.5
青森県	1 474	701	773	153.6
岩手県	1 413	680	734	92.7
宮城県	2 371	1 160	1 211	324.7
秋田県	1 184	562	622	102.4
山形県	1 241	599	642	133.4
福島県	2 125	1 037	1 088	154.3
茨城県	2 992	1 491	1 501	489.8
栃木県	2 010	998	1 012	312.8
群馬県	2 031	1 002	1 029	318.2
埼玉県	6 978	3 519	3 458	1 827.1
千葉県	5 968	2 996	2 973	1 149.4
東京都	12 138	6 049	6 090	5 516.5
神奈川県	8 570	4 345	4 225	3 514.9
新潟県	2 473	1 200	1 272	196.8
富山県	1 121	540	581	263.9
石川県	1 182	573	610	282.2
福井県	830	402	427	197.9
山梨県	890	438	452	198.9
長野県	2 223	1 086	1 138	163.1
岐阜県	2 111	1 024	1 087	198.9
静岡県	3 781	1 864	1 917	484.3
愛知県	7 087	3 547	3 540	1 366.1
三重県	1 861	904	958	321.5
滋賀県	1 353	669	685	334.3
京都府	2 646	1 277	1 368	573.3
大阪府	8 818	4 304	4 514	4 651.7
兵庫県	5 571	2 681	2 890	661.4
奈良県	1 442	690	752	390.9
和歌山県	1 066	505	562	226.4
鳥取県	613	293	320	174.9
島根県	761	364	397	113.5
岡山県	1 953	937	1 016	274.3
広島県	2 879	1 392	1 487	339.6
山口県	1 524	721	803	250.1
徳島県	822	391	432	198.8
香川県	1 022	491	531	545.3
愛媛県	1 491	703	788	263.0
高知県	813	383	430	114.6
福岡県	5 032	2 395	2 637	1 009.0
佐賀県	876	414	462	359.4
長崎県	1 513	711	803	370.6
熊本県	1 860	878	982	251.1
大分県	1 221	575	645	192.7
宮崎県	1 169	551	618	151.3
鹿児島県	1 783	836	947	194.4
沖縄県	1 329	653	676	580.4
埼玉県の順位	5	5	5	4

## 人口と人口増加率（各年10月1日）



注）昭和20年は11月1日で行われた人口調査による人口。

資料：「国勢調査」総務省統計局

## 概要

平成14年8月、埼玉県の推計人口（県統計課）は7,001,933人となり、700万人の大台を突破しました。600万人を突破した昭和62年から15年をかけて100万人増えたこととなります。明治4年に誕生した本県の人口が100万人を突破したのは、同18年。その後、終戦や高度成長期を迎え、昭和40年に300万人、同46年に400万人、同52年に500万人を突破、本県の人口は急増の一途をたどりました。昭和50年代に入ると、この急増傾向はゆるやかな伸びとなりましたが、700万人を超えた現在も、依然人口の増加は続いています。

「人口推計年報」によると平成13年10月1日現在の埼玉県の人口は、平成12年10月1日の国勢調査人口より4万人増加し697万8千人となり、前年の国勢調査時と同じ全国第5位になりました。自然増加率は0.36%で全国第4位、社会増加率は0.21%で同第7位でした。男女別に人口をみると、男子人口が女子人口を6万1千人上回り、人口性比（女子100人に対する男子の数）は101.8でした。また、総面積に対する人口

密度は1,827.1人/㎢で全国第4位でした。

## 推計人口

5年ごとに10月1日現在で実施される国勢調査の翌年は国勢調査人口を、それ以外の年は前年10月1日現在の推計人口を基準とし、それぞれの年齢各歳・男女別人口にその後1年間の自然動態・社会動態・国籍異動による異動人口を加減して推計したものの。

## 総面積による人口密度

人口総数（外国人を含む。ただし、外国政府の外交使節団等を除く）÷北方地域及び竹島を除いた総面積

## 自然増加率

自然増減（出生児数－死者数）÷平成12年10月1日国勢調査人口×100

## 社会増加率

社会増減（都道府県間転入超過数－都道府県別入国超過数）÷平成12年10月1日国勢調査人口×100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～3 「人口推計年報」総務省統計局	平成13年10月1日	毎年
* 4 「社会生活統計指標」総務省統計局	平成12年10月1日	毎年

## 6 年齢 3 区分別人口

\* 1

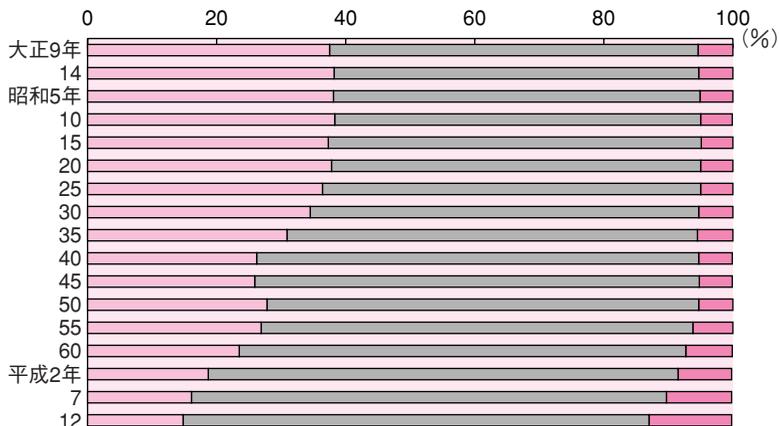
\* 2

\* 3

\* 4

		年少人口 (千人)	生産年齢人口 (千人)	老年人口 (千人)	生産年齢人口 割合 (%)
全	国	18 283	86 139	22 869	67.7
北	海	777	3 828	1 074	67.4
青	森	218	959	297	65.1
岩	手	208	893	313	63.2
宮	城	347	1 600	423	67.5
秋	田	159	738	288	62.3
山	形	180	769	292	62.0
福	島	333	1 350	443	63.5
茨	城	449	2 031	512	67.9
栃	木	302	1 353	356	67.3
群	馬	303	1 348	379	66.4
埼	玉	1 019	5 014	945	71.9
千	葉	837	4 244	887	71.1
東	京	1 440	8 693	2 005	71.6
神	奈	1 194	6 139	1 238	71.6
新	潟	358	1 573	542	63.6
富	山	155	726	240	64.7
石	川	174	781	227	66.0
福	井	127	528	175	63.6
山	梨	136	576	178	64.7
長	野	331	1 405	487	63.2
岐	阜	318	1 396	396	66.1
静	岡	558	2 533	690	67.0
愛	知	1 084	4 932	1 071	69.6
三	重	278	1 221	363	65.6
滋	賀	218	912	223	67.4
京	都	360	1 806	479	68.3
大	阪	1 250	6 186	1 382	70.2
兵	庫	820	3 772	979	67.7
奈	良	210	983	249	68.1
和	歌	155	680	232	63.7
鳥	取	92	383	138	62.5
島	根	109	458	194	60.3
岡	山	287	1 260	405	64.5
広	島	421	1 910	549	66.3
山	口	209	966	349	63.4
徳	島	114	523	185	63.6
香	川	145	657	220	64.3
愛	媛	213	950	328	63.7
高	知	110	507	196	62.4
福	岡	732	3 399	900	67.6
佐	賀	141	552	183	63.0
長	崎	235	954	324	63.1
熊	本	283	1 172	406	63.0
大	分	176	772	273	63.2
宮	崎	183	737	248	63.1
鹿	児	274	1 098	411	61.6
沖	縄	262	874	193	65.8
埼玉県の順位		5	4	7	1

## 年齢3区分別人口構成比（各年10月1日）



□ 0~14歳(年少人口) □ 15~64歳(生産年齢人口) □ 65歳~(老年人口)

注) 昭和20年は11月1日で行われた人口調査による人口。

資料：「国勢調査」総務省統計局

## 概要

「人口推計年報」によると、平成13年10月1日現在の年齢で3区分した人口は、全国的に出生数の減少や高齢化などを背景に、年少人口の割合は低下傾向に、老年人口の割合は上昇傾向にあります。このような中で、年少人口が老年人口を上回っているのは沖縄県、埼玉県及び愛知県の3県のみでした。

年齢で3区分した埼玉県の人口をみると、年少人口は1,019千人で埼玉県の総人口の14.6%、生産年齢人口は5,014千人で同71.9%、老年人口は945千人で同13.5%となりました。この総人口に占める生産年齢人口の割合は、前年の国勢調査結果と同じく全国で最も高く、老年人口の割合は最も低くなっています。

しかし、老年人口を前年の国勢調査と比べると増加率は6.0%で、この増加率は全国第1位でした。全国的にみても、老年人口割合の低い県で増加率が高くなっています。

## 年齢

平成13年9月30日現在による満年齢である。なお、平成13年10月1日午前0時に生まれた人は0歳とした。

## 年齢3区分別人口

総人口を年少人口、生産年齢人口、老年人口の3つに区分したものを。

## 年少人口

0~14歳の人口

## 生産年齢人口

15~64歳の人口

## 老年人口

65歳以上の人口

## 生産年齢人口割合

生産年齢人口÷総人口×100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1~4 「人口推計年報」総務省統計局	平成13年10月1日	毎年

## 7 年齢

\* 1

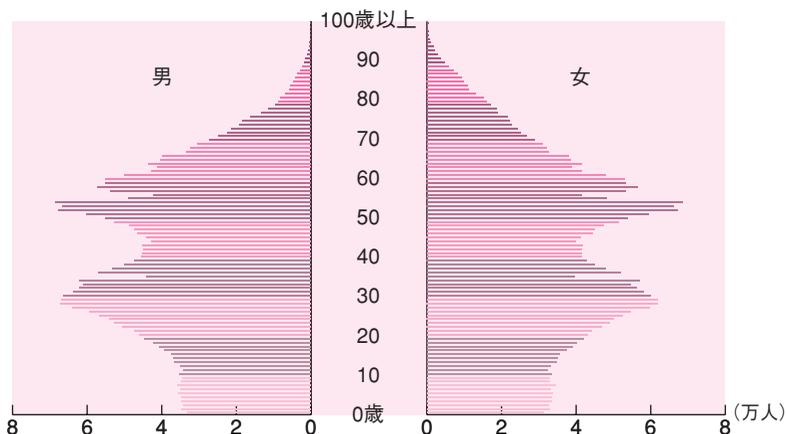
\* 2

\* 3

\* 4

		平均寿命（男） （歳）	平均寿命（女） （歳）	平均年齢 （歳）	年齢中位数 （歳）
全	国	77.71	84.62	41.4	41.5
北	海 道	77.55	84.84	42.2	43.1
青	森 県	75.67	83.69	42.4	43.6
岩	手 県	77.09	84.60	43.3	44.7
宮	城 県	77.71	84.74	40.8	40.6
秋	田 県	76.81	84.32	44.8	46.8
山	形 県	77.69	84.57	43.9	45.3
福	島 県	77.18	84.21	42.2	43.0
茨	城 県	77.20	84.21	41.0	41.4
栃	木 県	77.14	84.04	41.2	41.6
群	馬 県	77.86	84.47	41.8	42.3
埼	玉 県	78.05	84.34	39.6	38.9
千	葉 県	78.05	84.51	40.3	39.9
東	京 都	77.98	84.38	41.2	39.6
神	奈 川 県	78.24	84.74	39.9	38.6
新	潟 県	77.66	85.19	43.3	44.5
富	山 県	78.03	85.24	43.5	45.0
石	川 県	77.96	85.18	41.9	42.2
福	井 県	78.55	85.39	42.5	43.1
山	梨 県	77.90	85.21	42.0	42.1
長	野 県	78.90	85.31	43.2	43.9
岐	阜 県	78.10	84.33	41.7	42.2
静	岡 県	78.15	84.95	41.7	42.2
愛	知 県	78.01	84.22	39.8	38.8
三	重 県	77.90	84.49	42.1	42.6
滋	賀 県	78.19	84.92	39.9	39.2
京	都 府	78.15	84.81	41.5	41.0
大	阪 府	76.97	84.01	40.6	39.9
兵	庫 県	77.57	84.34	41.2	41.2
奈	良 県	78.36	84.80	41.2	41.5
和	歌 山 県	77.01	84.23	43.4	44.7
鳥	取 県	77.39	84.91	43.3	44.6
島	根 県	77.54	85.30	44.9	46.9
岡	山 県	77.80	85.25	42.5	43.3
広	島 県	77.76	85.09	42.0	42.4
山	口 県	77.03	84.61	44.2	46.4
徳	島 県	77.19	84.49	43.7	45.2
香	川 県	77.99	84.85	43.2	44.5
愛	媛 県	77.30	84.57	43.5	44.9
高	知 県	76.85	84.76	44.7	46.6
福	岡 県	77.21	84.62	41.1	41.1
佐	賀 県	76.95	85.07	42.1	42.9
長	崎 県	77.21	84.81	42.7	43.9
熊	本 県	78.29	85.30	42.8	43.7
大	分 県	77.91	84.69	43.6	45.2
宮	崎 県	77.42	85.09	42.6	44.0
鹿	児 島 県	76.98	84.68	43.2	44.3
沖	縄 県	77.64	86.01	37.5	36.2
埼玉県の順位		10	37	46	44

## 人口ピラミッド（平成14年1月1日）



資料：「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」県統計課

## 概要

「都道府県別生命表の概況」によると、平成12年の国勢調査等を基に算出した埼玉県の平均寿命は男性が78.05歳、女性が84.34歳で、30年前（昭和45年）と比べて、それぞれ8.67歳、9.72歳上昇しています。また、全国平均と比較すると、男性は0.34歳上回り全国第10位、女性は0.28歳下回り全国第37位となりました。

「国勢調査」による平成12年10月1日現在の埼玉県の平均年齢は、前回より2.2歳上昇し39.6歳となりましたが、引き続き全国第46位と全国で2番目に低い順位でした。年齢中位数は38.9歳で、全国第44位でした。

「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」によると、平成14年1月1日現在の埼玉県の人口を年齢ごとに積み上げた人口ピラミッドは「ひょうたん型」になっていますが、出生率の低下にともない、裾が次第に狭まってきています。

## 生命表

一定期間におけるある人口集団の死亡状況を平均余命などによって表現したもの。

平成12年都道府県別生命表は人口動態統計確定数（厚生労働省）による日本人死亡数（平成11～13年）及び出生数（平成10～13年）、平成12年国勢調査（総務省）による確定日本人人口を基礎資料としている。

## 平均寿命

0歳の平均余命（X歳に達したものがその後生存する年数の平均）。

## 平均年齢

年齢（各歳）×各歳別人口÷総人口+0.5

## 年齢中位数

人口を年齢順に並べたとき、その中央で全人口を2等分する境界点にある年齢。

## 町（丁）字別人口

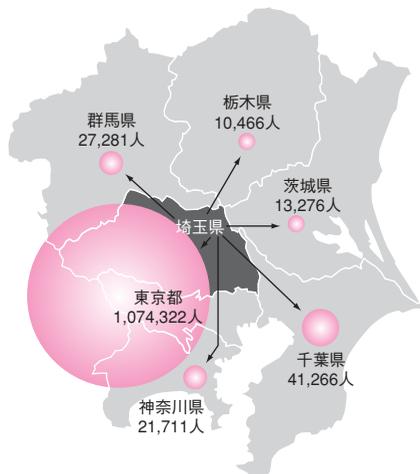
調査年1月1日現在の住民基本台帳住民票と外国人登録原票からとりまとめた人口。国勢調査人口（調査日現在日本国内に常住している人口）や推計人口とは異なる。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1 2 「都道府県別生命表の概況」厚生労働省	平成12年	5年
* 3 4 「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年

## 8 昼間人口

		* 1	* 2	* 3	* 4
		昼間人口 (人)	昼夜間人口比率 (%)	通勤・通学者 総数 (人)	県外への 通勤・通学者数 (人)
全	国	126 697 282	100.0	66 785 301	5 961 520
北	海	5 654 510	100.0	3 167 114	5 541
青	森	1 475 966	100.1	791 591	5 833
岩	手	1 410 725	99.7	779 245	13 213
宮	城	2 365 783	100.1	1 350 773	17 527
秋	田	1 187 462	99.9	631 564	3 840
山	形	1 243 130	99.9	680 326	5 350
福	島	2 122 225	99.8	1 169 517	16 164
茨	城	2 891 727	96.9	1 520 627	170 179
栃	木	1 992 566	99.4	1 075 719	68 341
群	馬	2 017 585	99.9	1 084 844	57 057
埼	玉	5 985 497	86.4	2 974 379	1 194 673
千	葉	5 181 963	87.6	2 583 039	930 010
東	京	14 666 899	122.0	6 547 973	494 998
神	奈	7 633 783	90.1	3 970 254	1 135 685
新	潟	2 473 860	100.0	1 407 680	4 328
富	山	1 117 188	99.7	659 150	9 238
石	川	1 180 018	100.3	694 649	7 586
福	井	830 765	100.3	485 501	4 712
山	梨	880 662	99.2	477 088	17 734
長	野	2 215 088	100.0	1 254 766	8 354
岐	阜	2 025 509	96.1	1 089 240	129 849
静	岡	3 763 485	99.9	2 189 733	35 518
愛	知	7 131 208	101.6	4 154 902	76 875
三	重	1 811 295	97.6	999 471	73 936
滋	賀	1 290 102	96.1	713 240	93 802
京	都	2 642 551	100.5	1 318 729	169 756
大	阪	9 308 237	105.9	4 710 047	263 643
兵	庫	5 276 185	95.1	2 748 719	411 866
奈	良	1 262 135	87.6	565 054	240 280
和	歌	1 045 819	97.8	506 445	41 971
鳥	取	613 772	100.2	344 877	6 936
島	根	760 421	99.9	420 430	8 822
岡	山	1 948 997	99.9	1 080 199	22 880
広	島	2 885 973	100.3	1 647 691	22 781
山	口	1 518 444	99.4	830 653	23 484
徳	島	821 744	99.8	421 954	5 650
香	川	1 024 783	100.2	559 746	6 844
愛	媛	1 493 914	100.1	779 493	6 352
高	知	811 573	99.9	422 826	3 390
福	岡	5 014 075	100.2	2 780 813	56 905
佐	賀	873 168	99.6	449 206	34 898
長	崎	1 512 910	99.8	811 466	9 594
熊	本	1 851 153	99.6	975 367	18 625
大	分	1 220 246	100.0	650 153	10 057
宮	崎	1 169 428	100.0	627 168	7 003
鹿	児	1 783 975	99.9	942 229	8 930
沖	縄	1 308 778	100.0	739 651	510
埼玉県の順位		5	47	6	1

## 県外への通勤・通学者数（平成12年10月1日）



資料：「国勢調査」総務省統計局

### 概要

「国勢調査」によると、平成12年10月1日現在の埼玉県の昼間人口は、前回よりも259,463人(4.5%)増加して5,985,497人となり、全国第5位でした。一方、夜間人口は6,925,232人でした。昼夜間人口比率は86.4%で、前回に続き全国最下位でした。

流入人口は254,938人で、前回より722人(0.3%)減少しました。流入人口の内訳をみると、東京都からが150,659人と最も多く、次いで群馬県の37,958人、千葉県の23,701人の順となっています。

流出人口は前回より83,465人(6.5%)減少して1,194,673人となりましたが全国第1位でした。流出人口の内訳をみると、東京都への通勤・通学者が1,074,322人と、前回に続き全国で最も多くなっています。東京都以外の流出先では、千葉県が41,266人、群馬県が27,281人、神奈川県が21,711人などの順で多くなっています。

### 昼間人口

昼間活動している場所（従業地・通学地）による人口。常住人口から、通勤・通

学に伴う日々の人口移動を15歳未満の通学者を含めて加減する。年齢不詳者を含まない。

### 夜間人口（常住人口）

常住地による人口（原則として調査の時期に調査時点の住所に3か月以上居住又は居住予定の人口）。年齢不詳者を含まない。

### 昼夜間人口比率

常住人口100人当たりの昼間人口の割合。100を上回ったときは通勤・通学人口の流入超過、下回ったときは流出超過を示す。

### 流入人口・流出人口

流入人口とは、他の都道府県（他の市区町村）に常住し、埼玉県（当該市町村）へ通勤・通学する者。流出人口とは、埼玉県（当該市町村）に常住し、他の都道府県（他の市区町村）へ通勤・通学する者。

### 通勤

自宅以外の場所に従業しに行くこと。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年

## 9 世帯

\* 1

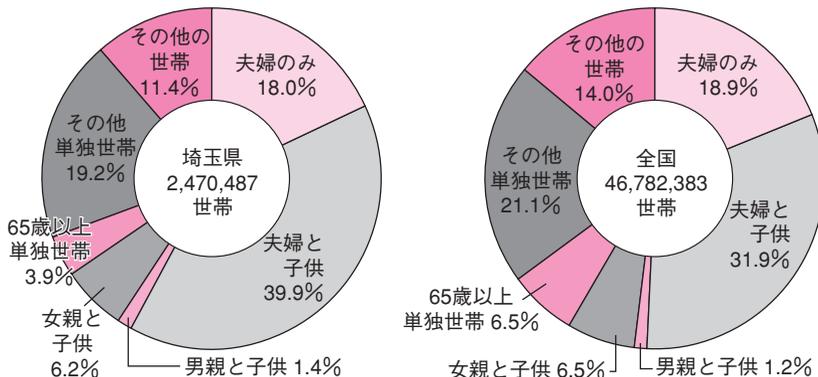
\* 2

\* 3

\* 4

		一般世帯数 (世帯)	一般世帯1世帯 当たり人員 (人)	一般世帯中の 核家族世帯割合 (%)	一般世帯中の 高齢単身世帯 割合 (%)
全	国	46 782 383	2.67	58.4	6.5
北	海 道	2 277 968	2.42	60.5	7.4
青	森 県	504 373	2.86	54.2	6.6
岩	手 県	474 660	2.92	50.9	6.0
宮	城 県	831 669	2.80	52.0	4.5
秋	田 県	388 424	3.00	50.5	6.7
山	形 県	376 219	3.25	45.8	5.3
福	島 県	686 225	3.05	52.1	5.6
茨	城 県	983 817	2.99	58.3	4.3
栃	木 県	665 934	2.97	56.5	4.7
群	馬 県	690 972	2.88	60.1	5.4
埼	玉 県	2 470 487	2.78	65.5	3.9
千	葉 県	2 164 117	2.70	62.5	4.5
東	京 都	5 371 057	2.21	52.2	7.2
神	奈 川 県	3 318 332	2.53	62.0	5.0
新	潟 県	791 880	3.07	51.1	5.3
富	山 県	356 361	3.09	52.3	5.6
石	川 県	406 618	2.83	53.2	5.8
福	井 県	258 328	3.14	50.7	5.7
山	梨 県	307 916	2.84	57.4	6.2
長	野 県	755 840	2.89	55.2	6.0
岐	阜 県	678 036	3.07	56.7	5.1
静	岡 県	1 278 668	2.91	56.9	4.8
愛	知 県	2 522 824	2.75	59.8	4.9
三	重 県	635 382	2.88	59.4	6.6
滋	賀 県	439 370	3.02	57.5	4.5
京	都 府	1 015 468	2.55	57.6	7.5
大	阪 府	3 454 840	2.51	61.9	7.4
兵	庫 県	2 035 097	2.69	63.2	7.4
奈	良 県	484 954	2.93	64.9	5.9
和	歌 山 県	379 753	2.77	62.0	9.5
鳥	取 県	199 988	3.00	51.8	7.3
島	根 県	256 508	2.90	51.0	8.2
岡	山 県	689 733	2.77	57.4	7.3
広	島 県	1 095 905	2.57	59.9	7.7
山	口 県	582 437	2.56	59.8	9.7
徳	島 県	287 897	2.78	55.7	8.1
香	川 県	363 955	2.75	58.5	7.6
愛	媛 県	564 959	2.59	60.3	9.1
高	知 県	319 298	2.47	57.7	11.2
福	岡 県	1 906 862	2.57	57.9	7.5
佐	賀 県	277 606	3.08	55.1	7.0
長	崎 県	542 985	2.71	59.9	9.2
熊	本 県	644 963	2.81	56.2	8.0
大	分 県	451 697	2.64	58.0	8.9
宮	崎 県	437 493	2.61	62.2	9.1
鹿	児 島 県	714 413	2.43	62.4	12.4
沖	縄 県	440 095	2.91	64.5	6.2
埼玉県の順位		5	26	1	47

## 家族類型別一般世帯構成比（平成12年10月1日）



資料：「国勢調査」総務省統計局

### 概要

「国勢調査」による平成12年10月1日現在の埼玉県の総世帯数は2,482,374世帯で、そのうち一般世帯数が2,470,487世帯、施設等の世帯が2,284世帯となっています。一般世帯数は前回に比べ191,751世帯(8.4%)増加しており、このうち世帯員が2人の世帯が589,238世帯で23.9%を占め、最も多くなっています。一般世帯の1世帯当たり人員は2.78人で、全国平均を上回ったものの、前回より0.16人減少しています。

家族類型別に一般世帯をみると、核家族世帯が1,617,277世帯(一般世帯の65.5%)と前回に比べ7.6%増加しました。一般世帯中の核家族世帯の割合は、前回に引き続き全国第1位でした。なお、核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は443,880世帯(一般世帯の18.0%)、夫婦と子供から成る世帯は986,649世帯(同39.9%)で、前回に比べそれぞれ25.2%の増加、0.5%の減少となっています。また、高齢単身世帯(65歳以上の者1人のみの世帯)は97,324世帯で、高齢親族のいる世帯の15.7%を占め、前回に比べ60.2%の増加となりました。

### 一般世帯

次のいずれかに該当する世帯。

- (1)住居と生計を共にしている人の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者。
- (2)上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者。
- (3)会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者。

### 施設等の世帯

寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所の入院者、社会施設・矯正施設の入所者及び自衛隊営舎内居住者、その他定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠(住所)を有しない船舶乗組員など。

### 核家族世帯

夫婦のみの世帯、夫婦と子供から成る世帯及び男親又は女親と子供から成る世帯。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「国勢調査」総務省統計局	平成12年10月1日	5年

## 10 転入・転出

\* 1

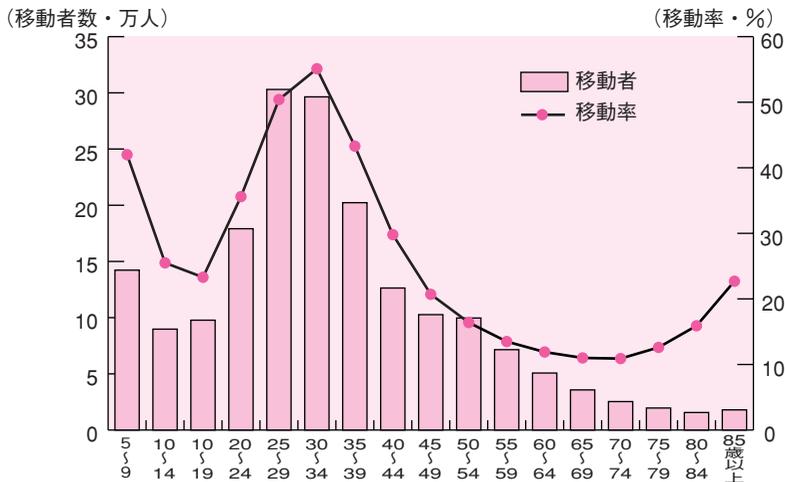
\* 2

\* 3

\* 4

		他都道府県からの転入者数 (人)	他都道府県への 転出者数 (人)	転入超過数 (人)	転入超過率 (%)
全	国	2 810 000	2 810 000	0	0.00
北	海	61 344	71 968	△ 10 624	△ 0.19
青	森	26 076	29 050	△ 2 974	△ 0.20
岩	手	23 488	27 056	△ 3 568	△ 0.25
宮	城	56 355	58 663	△ 2 308	△ 0.10
秋	田	16 849	19 986	△ 3 137	△ 0.27
山	形	18 183	21 639	△ 3 456	△ 0.28
福	島	32 487	38 269	△ 5 782	△ 0.27
茨	城	57 631	62 303	△ 4 672	△ 0.16
栃	木	38 905	40 790	△ 1 885	△ 0.09
群	馬	33 053	34 055	△ 1 002	△ 0.05
埼	玉	184 174	177 307	6 867	0.10
千	葉	180 251	166 822	13 429	0.23
東	京	449 888	381 770	68 118	0.57
神	奈	255 767	227 348	28 419	0.34
新	潟	30 216	35 333	△ 5 117	△ 0.21
富	山	16 427	18 756	△ 2 329	△ 0.21
石	川	21 345	23 517	△ 2 172	△ 0.18
福	井	11 789	13 567	△ 1 778	△ 0.22
山	梨	16 784	18 157	△ 1 373	△ 0.16
長	野	37 340	38 377	△ 1 037	△ 0.05
岐	阜	33 481	37 421	△ 3 940	△ 0.19
静	岡	67 976	70 275	△ 2 299	△ 0.06
愛	知	122 470	119 112	3 358	0.05
三	重	32 659	34 673	△ 2 014	△ 0.11
滋	賀	31 499	29 087	2 412	0.18
京	都	65 088	68 919	△ 3 831	△ 0.15
大	阪	180 700	201 268	△ 20 568	△ 0.24
兵	庫	117 471	113 548	3 923	0.07
奈	良	32 928	38 073	△ 5 145	△ 0.36
和	歌	15 658	18 581	△ 2 923	△ 0.28
鳥	取	12 537	13 057	△ 520	△ 0.09
島	根	14 435	15 675	△ 1 240	△ 0.16
岡	山	36 755	38 542	△ 1 787	△ 0.09
広	島	59 342	66 343	△ 7 001	△ 0.25
山	口	30 980	34 490	△ 3 510	△ 0.23
徳	島	13 435	14 627	△ 1 192	△ 0.15
香	川	23 150	24 991	△ 1 841	△ 0.18
愛	媛	24 514	27 166	△ 2 652	△ 0.18
高	知	13 560	14 209	△ 649	△ 0.08
福	岡	116 925	113 287	3 638	0.07
佐	賀	19 087	21 465	△ 2 378	△ 0.27
長	崎	31 267	36 112	△ 4 845	△ 0.32
熊	本	35 724	37 141	△ 1 417	△ 0.08
大	分	23 923	26 168	△ 2 245	△ 0.18
宮	崎	25 126	28 106	△ 2 980	△ 0.26
鹿	児	36 688	39 278	△ 2 590	△ 0.15
沖	縄	24 270	23 653	617	0.05
埼玉県の順位		3	4	4	5

## 年齢階級別移動者・移動率（平成12年10月1日）



資料：「国勢調査」総務省統計局

## 概要

「住民基本台帳人口移動報告年報」によると、平成13年の埼玉県の住民基本台帳上の他都道府県からの転入者は184,174人で、前年に引き続き全国第3位でした。その内訳をみると、東京都からが最も多く66,290人で、次いで千葉県からが15,882人、神奈川県からが15,712人となっています。また、他都道府県への転出者数は177,307人で、前年に引き続き全国第4位でした。その内訳をみると、東京都への転出者数が最も多く66,940人、神奈川県が17,570人、千葉県が17,222人と続いています。転入・転出者数を比べると、昭和30年以降、転出者より転入者の方が多く転入超過の状況が続いています。この転入超過数は、昭和62年から平成8年まで10年連続の第1位でしたが、平成13年は6,867人で、全国第4位でした。なお、転入超過数が最も多かったのは、5年連続で東京都でした。

「国勢調査」によると、平成12年10月1日現在の埼玉県の常住人口（5歳以上）のうちの移動者の割合（移動率）を年齢階級別にみると、5～9歳と20～39歳で30%以

上となりました。なお、常住人口（5歳以上）のうち、5年前も埼玉県に住んでいた（埼玉県が現住所だった）人の割合は71.5%で全国第39位でした。5年間に他都道府県から本県に住所を移した人が人口全体の約3割を占めていることになります。

## 転入超過数

転入者（他の都道府県から当該都道府県に転入し、住所を定めた者の数）－転出者（当該都道府県から他都道府県へ住所を移した者の数・転入者の従前の住所地から算出）。表\*4の転入超過率は、転入超過数の調査対象年10月1日現在の日本人人口（推計人口又は国勢調査人口・総務省統計局）に対する百分比。

## 移動者

5歳以上の常住人口から、調査時点の現住所が5年前と同じ者を除いた数。

## 移動率

移動者÷5歳以上の常住人口×100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
*1～4「住民基本台帳人口移動報告年報」総務省統計局	平成13年	毎年

## 11 出生

\* 1

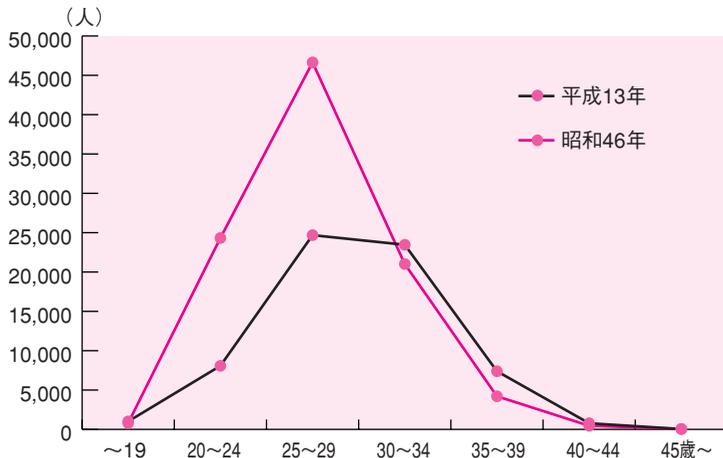
\* 2

\* 3

\* 4

		出生数 (人)	出生率 (人口千対)	自然増加率 (人口千対)	合計特殊出生率
全	国	1 170 662	9.3	1.6	1.33
北	海	46 236	8.2	0.5	1.21
青	森	12 889	8.8	△ 0.3	1.47
岩	手	12 272	8.7	△ 0.5	1.52
宮	城	21 751	9.2	1.9	1.33
秋	田	8 874	7.5	△ 2.5	1.40
山	形	10 907	8.8	△ 0.9	1.58
福	島	20 008	9.5	0.5	1.60
茨	城	27 864	9.4	1.6	1.40
栃	木	18 911	9.5	1.6	1.43
群	馬	19 024	9.5	1.4	1.42
埼	玉	65 417	9.5	3.5	1.24
千	葉	54 511	9.2	2.8	1.24
東	京	98 421	8.3	1.2	1.00
神	奈	81 839	9.7	3.5	1.22
新	潟	21 301	8.7	△ 0.4	1.45
富	山	9 994	9.0	0.2	1.40
石	川	11 342	9.7	1.6	1.40
福	井	7 958	9.7	1.4	1.52
山	梨	8 126	9.3	0.7	1.42
長	野	20 889	9.6	0.7	1.50
岐	阜	19 603	9.4	1.5	1.37
静	岡	35 193	9.5	1.7	1.40
愛	知	73 057	10.5	3.8	1.36
三	重	17 094	9.3	1.1	1.38
滋	賀	14 015	10.5	3.5	1.46
京	都	23 364	9.0	1.3	1.20
大	阪	86 000	9.9	2.8	1.24
兵	庫	52 585	9.6	1.9	1.29
奈	良	12 768	8.9	1.6	1.22
和	歌	9 345	8.8	△ 0.9	1.41
鳥	取	5 595	9.2	△ 0.4	1.58
島	根	6 640	8.8	△ 1.4	1.60
岡	山	18 797	9.7	0.9	1.46
広	島	27 328	9.6	1.4	1.37
山	口	12 989	8.6	△ 1.3	1.43
徳	島	7 038	8.6	△ 1.1	1.39
香	川	9 472	9.3	0.3	1.43
愛	媛	13 006	8.8	△ 0.7	1.40
高	知	6 736	8.3	△ 1.9	1.42
福	岡	46 985	9.4	1.7	1.31
佐	賀	8 561	9.8	0.9	1.62
長	崎	13 789	9.1	0.2	1.52
熊	本	16 960	9.1	0.5	1.52
大	分	10 891	9.0	△ 0.1	1.48
宮	崎	11 007	9.4	0.7	1.60
鹿	児	15 943	9.0	△ 0.8	1.53
沖	縄	17 169	13.0	6.8	1.83
埼玉県の順位		5	13	3	40

## 母の年齢別出生数



(注) 不詳を除く。

資料：「人口動態統計年報」厚生労働省  
「衛生統計」県衛生部

### 概要

「人口動態統計（確定数）の概況」によると、平成13年の埼玉県内における出生数は前年より959人減って65,417人となり、全国第5位となりました。出生率は9.5で、前年よりも0.2ポイント低下しましたが、全国順位は前年より2つあがって第13位となりました。自然増加率は3.5で、前年より0.3ポイント低下しています。また、合計特殊出生率は、前年より0.06ポイント下降して1.24で、全国第40位でした。

「人口動態統計年報」によると、平成13年に埼玉県で出生した第1子の母の年齢は28歳が、第2子では31歳が最多でした。平成13年の母の年齢別出生数を昭和46年と比べると、最も多かったのはどちらも25～29歳でしたが、平成13年では昭和46年の約半数となっています。また、30歳以上の出生数では、平成13年が昭和46年を上回っていますが、大きな違いは見られませんでした。

### 出生数・出生率

出生数とは、調査該当年の1月1日から12月31日に出生した全日本人を対象とし、

翌年の1月14日までに市区町村長に届けられたもの。都道府県別の表章は子の住所により、全国計には住所が外国の者を含む。

出生率とは、出生数÷10月1日現在日本人人口×1,000

### 自然増加率

自然増加数（出生数－死亡数）÷10月1日現在日本人人口×1,000

### 合計特殊出生率

15～49歳の女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むとしたときの子ども数に相当する。

年齢別出生率とは、ある年齢の母が1年間に生んだ子の数÷10月1日現在における日本人女性のある年齢の人口×1,000

※出生率、自然増加率、合計特殊出生率の計算に用いた10月1日現在（日本人）人口は、推計人口（総務省統計局）。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「人口動態統計（確定数）の概況」厚生労働省	平成13年	毎年

## 12 死亡

\* 1

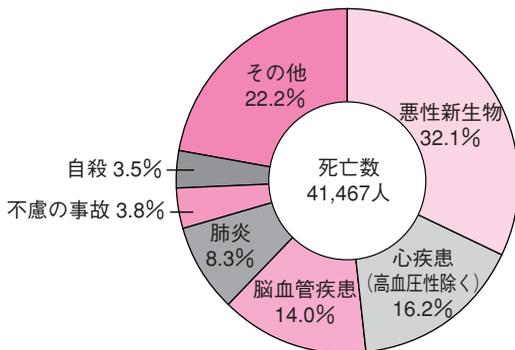
\* 2

\* 3

\* 4

		死亡数・総数 (人)	死亡率 (人口千対)	死亡数・ 悪性新生物 (人)	死亡数・ 心疾患 (人)
全	国	970 331	7.7	300 658	148 292
北	海	43 642	7.7	14 453	7 011
青	森	13 281	9.0	3 933	2 080
岩	手	13 039	9.3	3 765	2 024
宮	城	17 300	7.3	5 399	2 640
秋	田	11 872	10.1	3 623	1 683
山	形	12 063	9.8	3 760	1 790
福	島	19 013	9.0	5 673	2 993
茨	城	23 056	7.8	6 800	3 588
栃	木	15 692	7.9	4 659	2 494
群	馬	16 141	8.1	4 720	2 501
埼	玉	41 467	6.0	13 315	6 701
千	葉	37 810	6.4	12 016	6 135
東	京	84 586	7.1	27 379	12 942
神	奈	51 893	6.1	17 032	7 503
新	潟	22 267	9.0	6 767	3 252
富	山	9 780	8.8	2 936	1 404
石	川	9 440	8.0	2 883	1 436
福	井	6 850	8.4	2 031	1 134
山	梨	7 528	8.6	2 139	1 240
長	野	19 356	8.9	5 317	2 908
岐	阜	16 522	7.9	4 909	2 662
静	岡	28 914	7.8	8 405	4 581
愛	知	46 477	6.7	14 676	7 586
三	重	15 052	8.2	4 217	2 319
滋	賀	9 390	7.0	2 955	1 465
京	都	20 028	7.7	6 427	3 156
大	阪	61 708	7.1	21 023	9 004
兵	庫	42 123	7.7	13 625	6 471
奈	良	10 432	7.3	3 357	1 680
和	歌	10 297	9.7	3 083	1 669
鳥	取	5 822	9.5	1 732	847
島	根	7 666	10.1	2 209	1 096
岡	山	16 992	8.8	4 772	2 636
広	島	23 431	8.2	7 334	3 609
山	口	14 965	9.9	4 474	2 242
徳	島	7 979	9.7	2 237	1 309
香	川	9 169	9.0	2 695	1 457
愛	媛	13 985	9.4	4 060	2 419
高	知	8 308	10.3	2 357	1 309
福	岡	38 640	7.7	12 531	4 917
佐	賀	7 815	9.0	2 407	1 105
長	崎	13 430	8.9	4 283	1 934
熊	本	16 017	8.6	4 659	2 310
大	分	11 054	9.1	3 177	1 735
宮	崎	10 232	8.8	3 014	1 531
鹿	児	17 445	9.8	4 897	2 454
沖	縄	8 132	6.2	2 275	1 113
埼玉県の順位		7	47	7	6

## 主な死因別死亡数（平成13年）



資料：「人口動態統計（確定数）の概況」厚生労働省

### 概要

「人口動態（確定数）の概況」によると、平成13年の埼玉県の死亡数は前年より981人増えて41,467人となり、前年に引き続き全国第7位となりました。死亡率は6.0で、前年よりも0.1ポイント上昇しましたが、引き続き全国で最も低くなっています。昭和60年以降、昭和62年を除いて全国最下位が続いています。

死亡数を年齢階級別の割合で見ると、19歳までが全体の1.2%、20歳代が同1.1%、30歳代が同1.8%、40歳代が同3.5%、50歳代が同11.2%、60歳代が同18.0%、70歳代が同24.8%、80歳以上が同38.5%となりました。

死亡数を死因別にみると、[1] 悪性新生物13,315人（死亡総数の32.1%）、[2] 心疾患6,701人（同16.2%）、[3] 脳血管疾患5,792人（同14.0%）、[4] 肺炎3,459人（同8.3%）、[5] 不慮の事故1,570人（3.8%）、[6] 自殺1,438人（3.5%）などが多くなっています。

また、年齢階級別の死亡数を死因別の割合で見ると、19歳まででは不慮の事故、20

～30歳代では自殺、40～70歳代では、悪性新生物割合が最も高くなっています。80歳以上では、悪性新生物と心疾患（高血圧性を除く。）の割合が高くなっています。

### 死亡数

調査該当年の1月1日から12月31日までの1年間に死亡した日本人のすべてを対象とし、翌年の1月14日までに市区町村長に届けられたもの。都道府県別の表章は死亡者の住所による。全国計には住所が外国・不詳の者を含む。

### 死亡率

年間死亡数÷10月1日現在日本人人口×1,000

### 悪性新生物

一般にガンと呼ばれている病気のこと。

※死亡率の計算に用いた10月1日現在日本人人口は推計人口（総務省統計局）。

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1～4 「人口動態統計（確定数）の概況」厚生労働省	平成13年	毎年

## 13 婚姻・離婚

\* 1

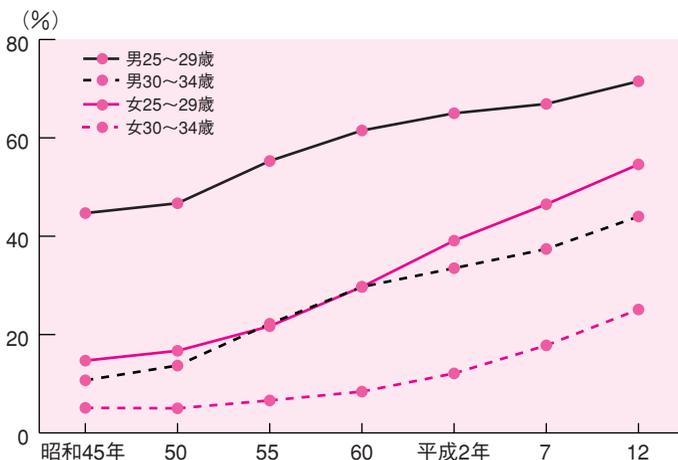
\* 2

\* 3

\* 4

	婚姻件数 (件)	離婚件数 (件)	未婚率・男・ 30～34歳 (%)	未婚率・女・ 25～29歳 (%)
全 国	799 999	285 911	42.9	54.0
北 海 道	34 425	15 626	39.0	52.6
青 森 県	8 069	3 440	40.3	48.9
岩 手 県	7 443	2 548	42.1	48.2
宮 城 県	15 194	5 114	41.6	52.6
秋 田 県	5 743	2 206	40.6	48.7
山 形 県	6 950	2 212	39.8	47.0
福 島 県	12 623	4 388	40.1	45.9
茨 城 県	18 013	6 301	42.9	50.8
栃 木 県	12 695	4 230	42.0	49.4
群 馬 県	12 320	4 198	40.6	49.7
埼 玉 県	45 720	15 664	44.0	54.6
千 葉 県	39 532	13 204	44.7	55.0
東 京 都	88 538	28 593	54.1	65.3
神 奈 川 県	61 763	19 851	46.6	55.4
新 潟 県	12 893	3 909	41.7	50.3
富 山 県	6 203	1 888	38.5	49.3
石 川 県	6 921	2 241	37.7	50.1
福 井 県	4 721	1 437	37.0	47.6
山 梨 県	5 271	1 757	42.7	51.9
長 野 県	13 385	4 026	42.3	52.1
岐 阜 県	12 013	3 918	37.8	50.7
静 岡 県	24 019	7 967	42.2	50.8
愛 知 県	48 295	15 082	40.5	49.5
三 重 県	10 946	3 955	37.4	47.9
滋 賀 県	8 561	2 663	37.3	48.8
京 都 府	15 775	5 903	42.6	58.0
大 阪 府	59 864	24 252	42.0	55.2
兵 庫 県	35 124	12 935	38.8	53.2
奈 良 県	7 998	2 968	37.6	56.6
和 歌 山 県	5 908	2 603	36.8	50.2
鳥 取 県	3 340	1 255	40.9	49.1
島 根 県	3 803	1 146	39.3	47.5
岡 山 県	11 504	4 347	37.7	50.0
広 島 県	17 387	6 184	38.8	50.9
山 口 県	8 118	3 239	38.4	50.0
徳 島 県	4 292	1 700	37.7	50.1
香 川 県	6 046	2 302	37.3	48.3
愛 媛 県	8 043	3 199	38.0	51.0
高 知 県	4 246	1 995	41.1	52.3
福 岡 県	31 143	13 230	41.4	56.9
佐 賀 県	4 715	1 815	39.5	52.8
長 崎 県	8 138	3 268	38.5	52.9
熊 本 県	10 404	4 030	37.6	53.1
大 分 県	6 747	2 606	38.1	53.0
宮 崎 県	6 560	2 866	36.8	49.9
鹿 児 島 県	9 598	3 748	37.9	53.2
沖 縄 県	8 990	3 902	43.5	53.9
埼玉県の順位	5	4	4	8

## 年代別未婚率（各年10月1日）



資料：「国勢調査」総務省統計局

## 概要

「人口動態統計（確定数）の概況」によると、平成13年は全国的に婚姻・離婚件数ともに前年を上回りました。

埼玉県における婚姻件数は45,720件で、前年に比べ84件の増加と小幅な伸びにとどまりました。全国順位は前年同様第5位となっています。離婚件数は15,664件で、前年より1,296件と大きく増加しましたが、前年に引き続き全国第4位でした。また、平均初婚年齢は、夫が29.3歳、妻が27.2歳で、それぞれ前年より0.2歳、0.1歳上昇しました。

「国勢調査」による平成12年10月1日現在の埼玉県における未婚率を男女別・年齢階級別にみると、男性の25～29歳が71.5%、30～34歳が44.0%で、ともに全国平均を上回り全国第4位となっています。女性の25～29歳は54.6%で全国第8位、30～34歳は25.1%で同第18位でした。前回と比べると、25～29歳及び30～34歳の未婚率は、男女ともすべての都道府県で上昇しています。

## 婚姻数・離婚数

調査該当年の1月1日から12月31日までの1年間に市区町村長に届け出られた婚姻届け又は離婚届の数。ただし、調停、審判、判決による離婚は、翌年の1月14日までに届け出られたもののうち、調査該当年1年間に成立又は確定があったもの。都道府県別の表章は、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

## 平均初婚年齢

婚姻届を届け出たときの初婚の夫又は妻の者の平均年齢。

## 未婚

まだ結婚したことのない人。届出の有無に関わらず、実際の状態により区分する。

## 未婚率

その年齢（年代）の未婚者÷その年齢（年代）の総人口×100

資料出所	調査時点又は期間	調査周期
* 1 2 「人口動態統計（確定数）の概況」厚生労働省 * 3 4 「国勢調査」総務省統計局	平成13年 平成12年10月1日	毎年 5年